

# あ と が き



医局便りは東北関東大地震の影響が続く中の作成でした。東北の死者不明者は24,000人に届こうとしています。また8万人以上の方が避難生活をされています。福島原発事故の影響が今後どうなっていくのか？素人として全く先が見えません。まさに歴史的な大災害であり、早く収まればと思うばかりです。産業医科大学は幸いに九州にあり、直接の被害はありませんが、テレビを見るたびに胸が痛みます。第2内科学からも東北を支援しようということで中俣潤一先生が被災地の診療にあたってくれました。私自身は神戸の時に被災地で診療をしましたが、それは最も新米の助教として医局から半ば強制で派遣されました。中俣先生は全くのボランティアであり、頭が下がります。いろいろなところで行事の自粛や中止がありますが、私自身はさまざまな活動を積極的に行うことが日本や東北の活性化につながると考えています。そのため医局便りも通常通り作成することといたしました。医局の目標は変わりません。教育・臨床・研究をレベルアップさせて、さらに産業医を輩出することが求められています。また、若松病院がスタートしました。今年と同門会では若松病院についても先生方に良い報告ができるのではないかと期待しています。同門の先生方、どうぞ医局への御指導・御支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。また、今年も医局便りを作るのに頑張ってくれた大庭千鶴子さんに感謝申し上げます。

平成 23 年 7 月 尾 辻 豊

## 産業医科大学第2内科学教室便り 第4号

平成 23 年 7 月 発行

発行編集 産業医科大学医学部第2内科学教室  
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号  
TEL 093-691-7436  
FAX 093-691-6913  
[http:// www.uoeh-u.ac.jp/kouza/2nai/intro\\_j.html](http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/2nai/intro_j.html)

印刷 株式会社 ペイジ  
北九州市八幡西区光明二丁目11番14号  
TEL 093-601-1717 FAX 093-602-7777